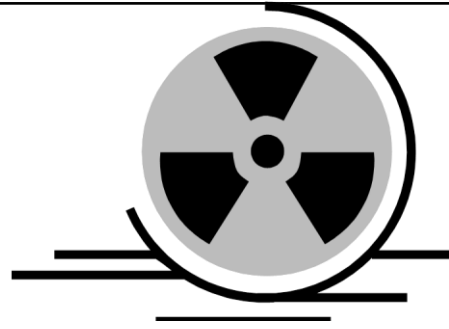


食品汚染と 内部被曝



そこ いま関西にある危機

“子どもたちを放射能から守る・八尾の会”

Q1. どうして放射線被曝が怖いのか？

A. 放射線がもたらす作用とは「分子を切断すること」。遺伝子だけでなく、あらゆる生命機能に破壊的に作用します。特に、呼吸や経口摂取を通じて体内に入った放射線源から被曝する「内部被曝」は「外部被曝」に比べて何百倍も危険性が高いと指摘されています。「それほど危険ではない」とする意見が出てくる理由は、「その人が内部被曝の危険性を知らないか無視していること」によります。

Q2. どうして内部被曝が怖いのか？

A. 外部被曝では破壊力の小さなガンマ線が主になりますが、内部被曝では全部の放射線が人体に到達します。破壊力の大きなアルファ線・ベータ線の内部被曝が与える傷は、ガンマ線に比べ、より複雑で修復しにくいとされています。

また、放射線の性質によっては、身体の特定位位に集まって集中的に被曝を発生させるものがあります。そのため、被曝の量としてはそれほど大きくなくとも深刻な症状がでる危険性があり、最近はその裏付けの実証データも多数出てきています。

Q3. 内部被曝を避けるためには？

A. 内部被曝の経路には「呼吸」と「食料・水分の摂取」という二つがあります。大気の汚染は現在はそれほど問題ではありませんが、食物の汚染は深刻です。全国どこでも「汚染された食材を注意深く避けること」が大切です。日常的に食品汚染の情報を調べる習慣を持ちましょう。次のサイトの情報が充実しています。

・ Save Child : <http://savechild.net/>

上記サイトの「食品情報」タグをクリックしよう。

外食が多い人は、汚染食材の多くが外食産業に流れていることに注意が必要です。行きつけのお店などで店長さんに食材の産地を聞いてみましょう。ついでに、内部被曝のことも話題にしてみましょう。知識を持つ人が増えるほど、みんなの危険が減ります。

また、現在、日本政府は「災害廃棄物の広域処理」という方針を掲げています。これが実現してしまうと、汚染ガレキが大量に大阪に持ち込まれることとなります。詳しくは Q5 をご覧ください。



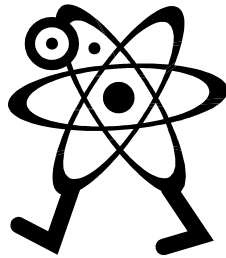
Q4. どうして政府は内部被曝を軽視するの？

A. 放射線被曝の規制は「人体に安全な範囲に制限しよう」ではなく、「核利用を進めるために、これだけは我慢してもらおう」という発想で進められてきました。最初から安全は二の次なのです。

だから、内部被曝が深刻な影響をもたらすことを認めれば、健康被害などへの補償が必要になりますし、場合によっては、核利用そのものをやめることも考えなければならなくなります。ですから、内部被曝の危険性を示唆する証拠は、世界的に政治の力によって無視されてきたのです。

一例を挙げると、広島・長崎への原爆投下に際しても、内部被曝の影響と想定される症状が多くありました。ところが、原爆症訴訟では、これらの被害が何十年ものあいだ認められず、多くの被害者が苦しみました。

内部被曝を軽視する国の姿勢は、3.11以降に取られた数々の施策にも露骨に表れています。「食品・飲料水の汚染に関する基準値の大幅引き上げ（暫定規制値）」、「公衆の被曝線量の大幅引き上げ、（1 mSv/年から20mSv/年へ）」、「放射能を含む災害廃棄物の広域処理の促進」等、被曝を抑制するどころか拡大する施策の数々には、世界中から疑問の声があがっています。



Q5. 「汚染ガレキが大阪にくる」って？

A. 現在、日本政府は、被災地の放射能に汚染されたガレキを日本全国に運んで焼却する計画（災害廃棄物の広域処理）を進めています。多くの反対の声をよソに、大阪府も受け入れを前提に指針を作成・公表し、年明けからは市町村への要請をはじめています。

通常の震災であれば、当然、受け入れるべきかもしれません。しかし、問題は放射能です。焼却すれば、焼却場から出る排気、排水、焼却灰を通じて大量の放射能がばらまかれる危険性があることが専門家からも指摘されています。そうなれば、関西でも呼吸からの被曝や地産食材の汚染が懸念されるようになり、関西経済全体も大きな打撃を受けるでしょう。

問題は「汚染ガレキ」だけではありません。汚染食材の流通など、日本政府の汚染拡大を止めようとしないうるずな姿勢は、確実に日本全土に深刻な汚染をもたらします。まずは汚染ガレキの受け入れを止めて、政策全体の方針転換を促していくことが必要です。

Q6. 国の基本姿勢を変えるにはどうしたら？

A. わたしたち一人ひとりが「被曝させられるのはイヤだ」と声をあげる必要がありますし、加えて「人びとを汚染地域に置き去りにするな」との声も併せてあげていくことも重要です。自分と家族だけを守ろうとしても、きれいな食材も水も空気もどんどんなくなっていけば先はありません。みんなで協力して政府に働きかけることが重要です。

皆さんの反対の声を、市議会議員などの政治家に届けてください。 よろしくお願ひします。

“子どもたちを放射能から守る・八尾の会”は、八尾市議会に対して、がれき受け入れ反対の請願書を提出しました。「採択」が決定されるためには、皆さんの多くの署名が必要です。

八尾市の皆さん、子どもたちの未来と健康を守るため、一緒に力を合わせて行動しましょう。

《下記のサイトから、署名用紙をダウンロードできます》

子どもたちを放射能から守る・八尾の会

<http://savechildyao.blog.fc2.com/> email:1219nori@gmail.com

tel:090-9118-6998(松下・一児の父)

大阪府・大阪市へのガレキ受け入れ反対の電子署名は ⇒ “瓦礫受け入れやめて@大阪” (<http://love-peace.from.tv>)